

6月例会「経営者の“夢”とは」～夢の明確化・再認識～

6月25日 於 久御山町 ふれあい交流館ゆうホール

株式会社オージーファイン 小川 保弘

今期新しく設置された経営資質研鑽委員会の活動について、期初に委員会メンバーで検討し、年間の例会を通して会員の方に経営者としての夢や理想像を明確にし、またそれを実現していくための方法を考えていただく機会を提供していこうと考え、「経営者としての自己実現」という年間テーマを立てました。6月例会ではその第一歩として、自分自身の思いとしっかりと一致した「経営者としての“夢”」を明確にする、もしくは再認識していただくための例会を企画しました。

当初、夢の明確化・再認識のための方法について、経営者の個人的な価値観や願望とリンクしたものにするためには、自分自身の思いもしっかりと自覚することが必要と考え、経営資質研鑽委員会の独自の分析方法(KSK分析)を考案しようと、委員メンバーで検討・シミュレーションを重ねました。ただ、専門的な立場の方からのアドバイスも必要ではないかという意見も出たため、公益財団法人京都産業21の内田様に相談したところ、京都産業21の登録専門家である、SBC(有)中小企業診断所 代表取締役 米田 明様を紹介していただきました。米田様と分析方法や、例会の進行について打ち合わせを重ね、委員会のねらいに沿った内容で例会の講師をしていただけることになりました。

例会当日は約30名の会員の方に参加いただきました。前半に米田様より、夢の重要性・目標設定の方法などについてご講義いただき、会場の参加者全員が自身の夢、理想像、強みを分析する実習に取り組みました。実習では、講師の説明に沿って配布された用紙の設問に書き込むことで、これまでの人生経験とそこで身につけたことを振り返る段階から徐々に自分が経営者として目指す方向を明確にしていく段階に進むという流れで、参加者の方に夢の明確化・再認識をしていただきました。

後半では、グループに分かれて前半の実習の結果や自分自身の夢についてお互いに話をする時間としました。ディスカッションの内容を踏まえてグループごとに1名の方から発表していただきましたが、感想として「会社のトップをされている会員の方ばかりのグループだったため自分に足りないものがわかり勉強になった」という発表や、反対に「若い会員さんから社員を大切にしていきたいという話が出て、機青連らしい話ができたと」いう発表もありました。また、「最近、下請けという立場の弱さから悔しい思いをしたことがあり、もっと会社を強くしたい」という決意表明には会場から拍手がわき起こりました。

例会では、限られた時間の中での実習となりましたが、会員の方にはこれを機会に自身の夢を明確にいただけたとすれば幸いです。例会の開催にあたりご協力いただきました、米田様、内田様にあらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。

